

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和3年 3月 24日

公表: 令和 3年 3月 31日

事業所名 なないろテラス

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9		活動場所に柵を設置し、スペースを広く確保している	利用児の生活場所に応じて絨毯スペースとベッドを確保していく
	2	職員の配置数は適切である	9		法令に遵守した人員を確保している 医療ケア度の高い重症児を受け入れる体性を作るため、更に人材確保が必要である	同法人内での人員確保体制の構築を目指す
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9			工事施工段階でバリアフリーを設計している
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9		業務改善会議を定期的に行っている 議題内容に評価期間を定め改善している	多職種の連携を行うためにも今後も継続して行くことで、より精度を高めていく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9			今回が初めてのアンケートである 結果を踏まえ業務改善につなげていきたい
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	5		今回が初めてのアンケートである 結果をHP等で公開していく
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	8		現在第三者評価は行っていない 今後の検討課題となっている
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9		内部研修について、定期的に開催している 外部研修について、法人が積極的に機会を確保している	内部研修は、各職種に合わせて専門性の高いものを実施し精度を高めていく。 外部研修参加推奨も積極的にやっていく
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9		必要時カンファレンスを行いアセスメントを行っている	引き続き必要時カンファレンスを行うことと、アセスメントをより丁寧に行い、計画を立てていく
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	1	標準化されたアセスメントツールを使用している	今後も標準化されたアセスメントツールを使用していく
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9		業種を決めず複数名でチームを作り行っている	今後もチームで活動プログラムを立案し質を高めていきたい
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9		季節の行事をおこなったり、季節に合わせた制作を行っている	今後も多様な活動プログラムを立案しより充実したものになるよう工夫していく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	1	常に職員間での情報共有を行い課題を明確にし対応している	今後も必要時カンファレンスを行い、課題を明確にし支援していく

適切な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9		利用児の状況に応じて時間で区切って行っている	今後も利用児に応じて個別活動と集団活動を組み合わせ充実した時間となるよう質を高めていきたい
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9		毎日ホワイトボードに記し朝礼で予定や役割分担の確認を行っている	今後も継続して行っていく 当日欠席の職員に連絡事項が伝わるよう職員間連絡ツールを活用していく
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	3	支援終了後、気付いた点等は情報共有しているが必ずではない 活動イベントなどがあつた場合は行っている 気づいた点は職員間連絡ツールを活用し情報共有を行っている 担当ごとに個別の振り返り、報告を行っている	今後も職員間の連絡ツールを使用し利用者の情報を共有していく 必要時支援の振り返りを行い、気づいた点は共有していく
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9		支援の記録・必要時特記事項を記録している	今後も継続して行っていく
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9		定期的に保護者に連絡しモニタリングを行っている	今後も継続して行っていく
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7	2	地域交流は行っていない その他は組み合わせ支援を行っている	地域交流については現在検討している 今年度から行っていけるよう計画していきたい
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9			可能な限り今後も継続して行っていく
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9		学校送迎時に情報共有を行っている 学校からの適切な連絡により行うことができる	今後も継続して行っていく
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	9		主治医との連絡は主に保護者が行っている 同法人嘱託医の受診を必ず行っている	医療的ケア児の受け入れを行っているため、主治医との連絡体制を整えることは今後の課題である 同法人嘱託医との連携も含め検討していく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	5	対象となる児がいないため現在は行っていない	今後対象となる児がいる場合、行っていく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	3	対象となる児がいないため現在は行っていない	今後対象となる児がいる場合、行っていく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	4	大府市の専門機関と連携している 助言や研修を受けている	今後、更に近隣地域を対象に連携を行っていきたい
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	8	社会状況を踏まえ今年には行っていない	今後については検討中である
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	3	管理者のみ参加	後は可能な限り全職員が参加できるようにしていきたい
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9			今後も継続して行っていく	

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	7	充分とは言えない	今後は積極的に行っていきたい
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9			今後も継続して行っていく
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	2	送迎の時間に必要時応じている 時間も限られるため十分とは言えない	送迎の時間以外にも細やかに連絡を取り合い、普段の生活状況を把握できるように努める 必要な助言ができる様研鑽していく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		9	社会状況を踏まえ今年 は行っていない	今後については検討中である
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9			今後も継続して行っていく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	3	HP・ブログで発信している 同法人隣接クリニックに活動通信を掲示している	今後も継続して行っていく
	35	個人情報に十分注意している	9		個人情報には書庫に鍵をかけて保管する等厳重に行っている	今後も継続して行っていく
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9			今後も継続して行っていく
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	7	社会状況を踏まえ今年 は行っていない	今後については検討中である
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9		全て作成し勉強会も開催している	今後も継続して行っていく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	3	今年度は施設内でのみ 2回/年実施	今後は隣接法人内での連携も含め避難訓練を行って いきたい 施設内避難訓練は2回/年実施していく
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9		全職員が外部研修に参加している	今後も継続して行っていく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	4	対象となる児がいない ため現在は行っていない	対象となる児はいないが、身体拘束について、合理的 配慮について全職員が熟知できる様研修を行っていく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	3	対象となる児がいない ため現在は行っていない	対象となる児には提供する食事の献立や成分表を配 布する アレルギー食の提供は行っていない
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9		発生時には朝礼で事例 を共有する 法人様式を使用し事例 を記入し対策を立て、3 か月後に再発評価を 行っている 対策が適切であるか評 価している。	今後も継続して行っていく